

苫小牧市の教育

令和7年度

苫小牧市教育委員会

目 次

苫小牧市民憲章・苫小牧市教育目標	1
苫小牧市教育大綱	2
学校教育推進計画・生涯学習推進基本計画	3
令和7年度教育行政執行方針	4

I 教育行財政

1 歴代教育委員	5
2 教育委員会行政機構	6
3 教育委員会事務局事務分掌	7
4 教育予算	9

II 学校教育

1 学校教育推進の重点	10
1 苫小牧市立小中学校一覧	11
2 就学助成	12
3 特別支援教育	13
4 学校保健	15
5 学校給食	16
6 苫小牧市教育研究所	17
7 教育支援センター（適応指導教室）	19
8 苫小牧市育英会・苫小牧市交通遺児育英会	20

III 社会教育

1 生涯学習	21
2 勇払公民館	24
3 図書館	25
4 科学センター	26
5 美術博物館	27
6 埋蔵文化財調査センター	28
7 勇武津資料館	29
8 文化交流センター	30
9 文化会館	31

IV 資 料	32
--------	----

苦 小 牧 市 民 憲 章

わたしたちは、樽前山のふもと、水鳥が舞い、太平洋の潮がおる勇払原野に、たくましくひらけた苦小牧の市民です。

わたしたちは、豊かな自然と大きな可能性にみちたこのまちを愛し、健やかな市民としてあゆむために、この憲章を定めます。

あたたかい心でまちを つつみましよう

学びあいつくるよろこびを そだてましよう

花と木のかおりでまちを みたしましよう

さわやかな笑顔でまきを まもりましよう

生き生きとくらす力を のばしましよう

—— 苦 小 牧 市 教 育 目 標 ——

苦小牧市においては、草創の頃から多くのすぐれた先駆者が北国の厳しい自然を克服し、進取の気性と磨かれた知性を発揮して豊かな文化都市の基礎を築くとともに、自然条件を生かした工業都市化への着実な歩みにより、道南、道央における経済、文化の進展に重要な役割を果たしてきたところであります。

しかしながら、都市化現象にともなう人間疎外や生活環境の複雑化といった新たな問題も生じてきております。

したがって本市の求むべき都市像は、市民憲章にうたわれているように、豊かな大自然の中で高度の福祉と文化を調和させ、相互の愛情と強い連帯意識に結ばれた市民すべてが生きがいのある郷土づくりに情熱を注ぐことが大切であります。

そのためには、生涯学習の視点から、家庭教育・学校教育・社会教育などあらゆる教育の場を通して目標達成に努めることが肝要であります。

- 1 強じんな身体と豊かな教養をもつ文化人
- 2 道義を重んじ進んで住みよい郷土を建設する社会人
- 3 おう盛な開拓精神と勝れた科学技術をもつ生産人

苫小牧市教育大綱 2023-2027 年度

基本理念

未来の社会をつくるひとづくり

「教育の目的はひとづくりであり、今日の教育が子どもたちの未来をつくり、未来の社会をつくる」という教育の重大な使命を自覚し、教育の振興と発展に向けて取り組む。

教育推進の指標

未知なるものに果敢に挑戦する自立の精神にあふれ、
連帯と共生の豊かな心と活力にあふれる人を育てる。

自立

グローバルな視野で活躍する子どもたちが、主体的・対話的に深く学び、「自立」の精神あふれる「生きる力」を身に付ける。

連帯

未来を担う子どもたちを育てる学校・家庭・地域が、それぞれの思いをつむぎ、「連帯」の心をもって活力あふれる人材を育てる。

共生

生涯学習の主体者である市民一人一人が、世代や性別を超え、人権を尊重し、活力あふれる「共生」の社会をつくりだす人材を育てる。

13の基本施策

社会で生きる学びの推進

- 1 確かな学力の育成
- 2 これからの時代に求められる資質・能力の育成
- 3 多様な価値を尊重する豊かな心の育成
- 4 体力向上・健康教育の充実
- 5 特別支援教育の充実

学校・家庭・地域の 思いをつむぐ体制の確立

- 6 幼児教育の充実と学校段階間の連携・接続の推進
- 7 不登校児童生徒への支援の充実
- 8 学校と地域の連携・協働の推進
- 9 学びのセーフティネットの構築
- 10 教育環境・学校施設・設備の充実

すべての人が学び続け 活躍できる社会の実現

- 11 主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支えるひとづくり
- 12 いつでも、誰とでも学べる環境づくり
- 13 文化・芸術・スポーツがいつも身近にあるまちづくり

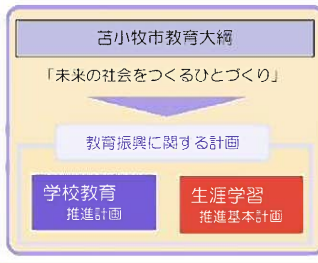


■ 計画の目的

本市の子どもたちが未来の社会の担い手として成長するための義務教育のさらなる充実、魅力ある学校づくりを推進する計画

■ 計画の位置づけ

生涯学習推進基本計画と合わせた教育基本法に基づく「教育振興に関する計画」



生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子

方針1

社会で生きる学びの推進

1 確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 学力向上に向けた検証改善サイクルの確立

2 これからの時代に求められる資質・能力の育成

- ICTの活用による個別最適化された学びの実現
- 外国語教育の充実と国際理解教育の推進

3 多様な価値を尊重する豊かな心の育成

- 道徳教育の推進・人権教育の充実
- いじめ防止の取組の充実

4 体力向上・健康教育の充実

- 学校における体力・運動能力向上の取組の推進
- 食育の推進など学校、家庭、地域が連携・協働した生活習慣の確立

5 特別支援教育の充実

- 連続性のある多様な学びの場の整備
- 各学校における特別支援教育の充実



SDGs、ESDの推進！ ゼロカーボンシティへの挑戦！

子どもたちが「考え、行動し、未来の苫小牧をつくる力」を身に付ける取組を各施策で横断的に実施します。



ICT活用の推進！

方針2

学校・家庭・地域の 思いをつむぐ体制の確立

6 学校段階間の連携・接続の推進

- Tomakomai All-9 の促進
- 幼稚園、認定こども園、保育所及び高校等との連携

7 不登校児童生徒への支援の充実

- 魅力ある学校づくりと不登校児童生徒への支援の充実
- 学校、家庭、地域が連携・協働した不登校対策の推進

8 学校と地域の連携・協働の推進

- 家庭、地域の教育力を生かした学校づくり
- 社会との連携・協働による教育活動の構築

9 学びのセーフティネットの構築

- 多様な学習機会の提供や学習支援の充実
- 関係機関との連携による相談機能の拡充

10 教育環境・学校施設・設備の充実

- 学校規模や地域の実情に応じた望ましい教育環境の整備
- 環境、健康、福祉に配慮した地域拠点としての施設の整備
- 働き方改革の推進

苫小牧市教育委員会

苫小牧市 第六次生涯学習推進基本計画

2023（令和5）-2027（令和9）

【概要版】

すべての人が学び続けることで活躍できる社会の実現

基本施策Ⅰ

主体的に生涯学習を続け、 郷土の発展を支えるひとづくり

1 個性とライフステージに合わせた学び機会の充実

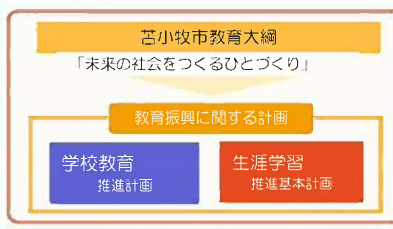
- (1) 子どもの健やかな発達と学びの支援
- (2) 青少年の豊かな心を育む学びの支援
- (3) 成人の学びの継続・学びなおしの支援
- (4) 長寿社会のニーズに合わせた学びの支援
- (5) 障がいのあるなしに関わらず
心豊かに暮らすための学びの支援
- (6) 共生社会の実現に向けた、
すべての市民への学びの支援

■ 計画の目的

市民が生涯を通じて学び続けるための環境整備を推進する計画。（平成3年に1次計画を策定）

■ 計画の位置づけ

学校教育推進計画と合わせた教育基本法に基づく「教育振興に関する計画」



美術館開館10周年

基本施策Ⅲ

文化・芸術が いつも身近にあるまちづくり

5 文化・芸術に触れる機会、環境の充実

- (15) 生涯学習関連施設機能の充実
- (16) 音楽やアートに関連する事業の展開
- (17) 文化財の積極的な活用

基本施策Ⅱ いつでも、誰でも学べる環境づくり

2 学習グループや企業・団体との連携

- (7) 企業・団体と行政の連携と発展
- (8) 協働による学習の推進
- (9) ボランティア活動の啓発と支援

3 ICTの活用による学習環境の充実

- (10) 学習支援情報の収集・提供
- (11) 情報の共有化による学習支援ネットワークの展開

4 地域・市民、高等教育機関と連携した協働体制の 充実

- (12) 学校と地域の連携、地域活性化による学びの支援
- (13) まちづくりへの参加促進と学習の成果を生かした
市民参画
- (14) 高等教育機関などの講座や教室との連携



苫小牧市
第三図書館開館10周年
市民が学び続けるための環境づくりを推進



苫小牧市教育委員会

令和7年度教育行政執行方針概要

方針1：社会で生きる学びの推進

1.確かな学力の育成

すべての子どもたちに今求められる資質能力を育むために、多様な学び方を自己選択・自己決定し、協働的な学習を通して個々の学びを深める授業の構築を進めてまいります。

また、「教え、与える」指導から「支える」指導への転換を図り、教師自身が、子ども主体の学びの場となるための必要な授業力を獲得し、高めていけるよう、実践的研修の充実に努めてまいります。

2.これからの時代に求められる資質・能力の育成

子どもたちが学びの目的に応じてICT活用を選択し、効果的に学習を進めるために、情報活用能力を育む系統的な学習活動を推進してまいります。

また、世界の人々と積極的に関わり、異文化に対する理解を深めるため、コミュニケーション活動を重視した英語教育の創意工夫と国際理解教育の充実に努めてまいります。

3.多様な価値を尊重する豊かな心の育成

子どもたちが高い自己有用感をもち、自他の命と心を大切に守りながら、よりよく生きるために、必要な判断力や行動力を養うための道徳教育や人権教育の充実に努めてまいります。

また、多様性や異なる価値観が受け入れられ、いじめのない温かな雰囲気になった学校づくりが、子どもたちの手により主体的に進められるよう、教育活動の創意工夫を図ってまいります。

4.体力向上・健康教育の充実

子どもたち自身が高めたい運動技能や運動を楽しむ習慣を身に付けるために、ICTを活用した思考場面や十分な活動時間を設定するなど、体育授業の創意工夫に努めてまいります。

また、子どもたちの健やかな成長と適切なスクリーンタイムに関わる講演会を開催し、デジタル機器などの適切な利用習慣が図られるよう、改善に向けた取組を学校・家庭・地域の連携により進めてまいります。

食育につきましては、各学校の食に関する指導計画に基づき、望ましい食習慣の形成に努めるとともに、学校給食費の改定により、副菜などの献立を充実させるほか、地場産物の活用など地域と密着した取組を推進してまいります。

5.特別支援教育の充実

子ども一人ひとりの困り感を解消し、豊かな成長につなげる支援の充実が図られるよう、すべての教師の特別支援教育の専門性向上と、医療や福祉との包括的支援体制の強化に努めてまいります。

また、子どもたちの社会的自立と自己実現をサポートするために、適切な学びの場や進路選択の在り方について、保護者とともに学べる機会を創意工夫してまいります。

方針2 学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立

6.学校段階間の連携・接続の推進

園児や児童生徒が、夢と期待感をもって進学できるよう、体験・交流活動やカリキュラム連携、各教科の指導方法に関する共同研修の充実を図ってまいります。

また、生涯にわたり主体的に学び続ける上で必要な資質能力を育むために、小中における学びの連続性を重視した指導の充実を図り、すべての子どもたちに個別最適な学び方の確立を目指してまいります。

7.不登校児童生徒への支援の充実

全小・中学校に校内教育支援センターを開設し、教師や不登校対策支援員による寄り添った支援の下、子どもたちが自らの居場所として安心して学べる場の保障と拡充を図ってまいります。

また、不登校に悩む子どもや保護者が孤立せず、社会的自立への意欲と将来への希望を持てるよう、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）などとの相談支援体制を強化するほか、フリースクールとの連携強化に努めてまいります。

8.学校と地域の連携・協働の推進

子どもたちが、ふるさと苦小牧への理解や愛着を深め、自分自身の未来について夢と希望をもって語り、その実現に向けて意欲的な行動実践力の向上が図られるよう、今日的な課題や学習ニーズに応じた専門的、体験的な学びの場の創意工夫に努めてまいります。

また、コミュニティ・スクールを中心に、企業や地域と連携・協働した学びや体験を充実させるなど、特色ある学校づくりを推進します。

学校部活動につきましても、とまこまい型部活動地域移行ビジョンに基づく取組を推進するため、各団体や保護者の相談窓口となる専門部署を設置するなど組織体制を強化し、子どもたちや学校現場の声を聞きながら地域展開を進めてまいります。

9.学びのセーフティネットの構築

ヤングケアラーや児童虐待、性に関する悩みなど、子どもたちが抱える生きづらさの解消に向け、一人ひとりの心の声に傾聴し、迅速かつ適切な対応が図られるよう、学校や福祉、関係機関による包括的支援の充実に努めてまいります。

また、各学校において、教材費やPTA会費など学校活動費の見直しを継続し、保護者負担軽減に向けた取組を推進してまいります。

10.教育環境・学校施設・設備の充実

小・中学校保健室への冷房設備設置事業のほか、植苗小中学校大規模改修や大成小学校改築などの老朽化対策事業を進め、学校施設の安全確保を図るとともに、子どもたちの学習環境の向上に努めてまいります。

また、学校規模適正化の取組につきましては、望ましい学校規模や施設整備の計画の検証を行い、対象地域や具体的な方策、適正化に伴う実施時期などを示す新たなプランの策定に着手します。

方針3 すべての人が学び続け活躍できる社会の実現

11.主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支えるひとづくり

市民の個々の学びと多様な学習ニーズに対応するため、「セカンドブック事業」や「ナナカマド教室」を継続するとともに、出前講座の実施など、関係機関との連携に努め、市民のライフステージにふさわしい学びの環境充実に推進してまいります。

「いつでも、誰とでも学べる環境づくり

生涯学習関連施設との連携を強化し、市民の学習活動の支援を推進するほか、新たに「生涯学習人材バンク」を設置し、生涯学習分野における幅広い人材の掘り起こしと学びの循環の構築に努めます。

また、企業、生涯学習関連団体、高等教育機関などとの連携・協働により、多様で質の高い学びの環境を提供するよう取り組んでまいります。

12.文化・芸術がいつも身近にあるまちづくり

広く市民が文化芸術に親しみつつ、芸術家や文化団体などが活躍・交流する機会を促進するため、「PMFオーケストラ演奏会」などの鑑賞型事業を実施するほか、小中学生を対象とした「ジュニアミュージッククリニック」などの体験型事業を実施します。さらに、「市民文化祭」や「苦小牧アートフェスティバル」などの参加型事業とともに、「文化芸術振興助成事業」などの支援事業を実施してまいります。また、「文化芸術振興推進計画」の見直しに着手し、人が輝き文化の薫るまちづくりのさらなる推進に取り組んでまいります。

科学センターにおいては、宇宙ステーション「ミール」をはじめとした展示などにより、科学に対する興味関心を育ててまいります。

また、市民・学校・関係団体と連携し、プラネタリウムやミール展示館でのイベントを開催するなど施設の有効活用を促進し、生涯にわたり科学を学ぶことができる施設として、機能の充実に努めてまいります。

さらに、今後の在り方について、駅前再整備に向けた検討の中で、関係部署との協議を継続してまいります。

美術博物館においては、若者世代にも強い人気のある北海道ゆかりのアニメーター安彦良和氏の創作活動の全貌に迫る特別展「描く人、安彦良和」を開催いたします。

また、戦後80年を節目とする企画として、戦時下の美術作品や戦争遺跡をもとに、当時の様子を振り返るほか、本市の文化財保護の歴史と文化財を紹介する企画展などを開催し、郷土への愛着と誇りを高め、豊かな感性を育む機会の充実に努めてまいります。

中央図書館においては、「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」事業など、本に興味を持ち、触れる機会を増やす工夫や、「出張！図書館」など、より市民に親しまれる図書館を目指し、指定管理者と連携して取り組んでまいります。

I 教育行財政

1 歴代教育委員

教育委員	委員任期	教育委員長	教育委員長任期
野口 為一郎	S27.11. 1～S28. 3.20	田中 正経	S27.11. 1～S28. 8.11
門脇 松二郎	S27.11. 1～S32. 1.14	門脇 松二郎	S28. 8.12～S30. 5.20
吉住 秀雄	S27.11. 1～S31. 9.30	小野 貢	S30. 5.21～S31. 9.30
小野 貢	S27.11. 1～S45.10.19	瀬戸 藤市	S31.10. 1～S32.11.12
田中 正経	S27.11. 1～S28. 8.11	小野 貢	S32.11.13～S35. 9.29
藤田 栄	S28. 3.20～S30. 1.20	川村 武夫	S35. 9.30～S37.10.24
保利 啓吉	S28. 8.11～S30. 4.30	小野 貢	S37.10.25～S41.10.15
瀬戸 藤市	S30. 5. 1～S36. 1.27	三海 静夫	S41.10.16～S42. 1.17
海堀 つとむ	S30. 5.17～S31. 9.30	対馬 豊三	S42. 2.20～S43. 9.30
森田 勇	S27.11. 1～S43. 9.30	小野 貢	S43.10. 4～S45.10.19
阿部 悌甫	S31.10. 1～S32. 9.30	小林 吾妻	S45.11. 2～S46.11. 1
荒田 俊夫	S32.11. 5～S36.11. 4	対馬 豊三	S46.11. 7～S48. 9.30
川村 武夫	S32.11. 5～S39. 9.30	小林 吾妻	S48.11.22～S49.10.27
石堂 一夫	S36. 1.27～S39.12.27	対馬 豊三	S49.10.28～S51. 9.30
富田 茂	S36.11.22～S40.11.21	太田 俊男	S51.10. 1～S53.10.19
三海 静夫	S39. 9.14～S42. 1.17	黒沢みつゑ	S53.10.24～S54.10.23
対馬 豊三	S39.10. 1～S51. 9.30	梅津 三千	S54.10.24～S56.10.21
小池 トヨ	S40.11.22～S48.11.21	山下 正	S56.10.22～S57.10.19
今野 昇一	S42. 2.18～S43. 9.30	小山 藤市郎	S57.10.26～S58.10.17
工藤 勇二	S43.10. 1～S55. 9.30	中澤 靖吾	S58.10.18～S59.10. 2
小林 吾妻	S43.10. 1～S51. 9.30	小山 藤市郎	S59.10. 3～H 1.10. 3
太田 俊男	S45.10.20～S53.10.19	福原 周一	H 1.10. 4～H 2.10. 3
黒沢みつゑ	S48.11.22～S56.11.21	佐久間 淳子	H 2.10. 4～H 4.10. 2
梅津 三千	S51.10. 1～S56.10.21	渡辺 正	H 4.10. 3～H 9.11.21
大平 剛	S51.10. 1～S55. 9.30	田村 昭	H 9.11.22～H12.10. 2
山下 正	S53.10.20～S57.10.19	吉本 俊憲	H12.10. 3～H22.10. 2
中澤 靖吾	S55.10. 3～S59.10. 2	上原 毅	H22.10.20～H28.3.31
生玉建四良	S55.10.11～S59.10.10	教育長	教育長任期
小山 藤市郎	S56.11.22～H 1.11.21	森田 勇	S27.11. 1～S43. 9.30
佐久間 淳子	S56.12.15～H 4.10. 2	工藤 勇二	S43.10. 1～S55. 9.30
福原 周一	S57.10.20～H 2.10.19	生玉建四良	S55.10.11～S59.10.10
海津 文彦	S59.10. 3～S63.10. 2	野々垣 錦一	S59.10.11～S62. 5.19
野々垣 錦一	S59.10.11～S62. 5.19	佐々木 達雄	S62. 6. 1～H 8.10.10
佐々木 達雄	S62. 6. 1～H 8.10.10	福島 正義	H 8.10.11～H16.10.10
田村 昭	S63.10. 3～H12.10. 2	山田 眞久	H16.10.11～H24.10.10
渡辺 正	H 1.11.22～H 9.11.21	和野 幸夫	H24.10.11～H31. 3.31
吉本 俊憲	H 2.10.20～H22.10.19	以後、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」における新制度移行後の教育長	
中原 順子	H 4.10. 3～H16.10. 2		
福島 正義	H 8.10.11～H16.10.10	教育長	教育長任期
新谷 昭一	H 9.11.22～H17.11.21	和野 幸夫	H28.4.1～H31.3.31
榊川 順司	H12.10. 3～H16.10. 2	五十嵐 充	H31.4.1～R 4.3.31
鈴木 正樹	H16.10. 3～H24.10. 2	福原 功	R 4.4.1～R 7.3.31
佐藤 郁子	H16.10. 3～R 9.10. 2	山本 俊介	R 7.4.1～R10.3.31
山田 眞久	H16.10.11～H24.10.10		
佐藤 守	H17.11.22～H29.11.21		
上原 毅	H22.10.20～H30.10.19		
植木 忠夫	H24.10. 3～R 2.10. 2		
和野 幸夫	H24.10.11～H28.10.10		
齋藤 智子	H29.11.22～R11.11.21		
岡田 秀樹	H30.10.20～R8.10.19		
高橋 憲司	R 2.10. 3～R10.10. 2		



教育長

山本 俊介



教育長職務代理者

佐藤 郁子



委員

齋藤 智子



委員

岡田 秀樹



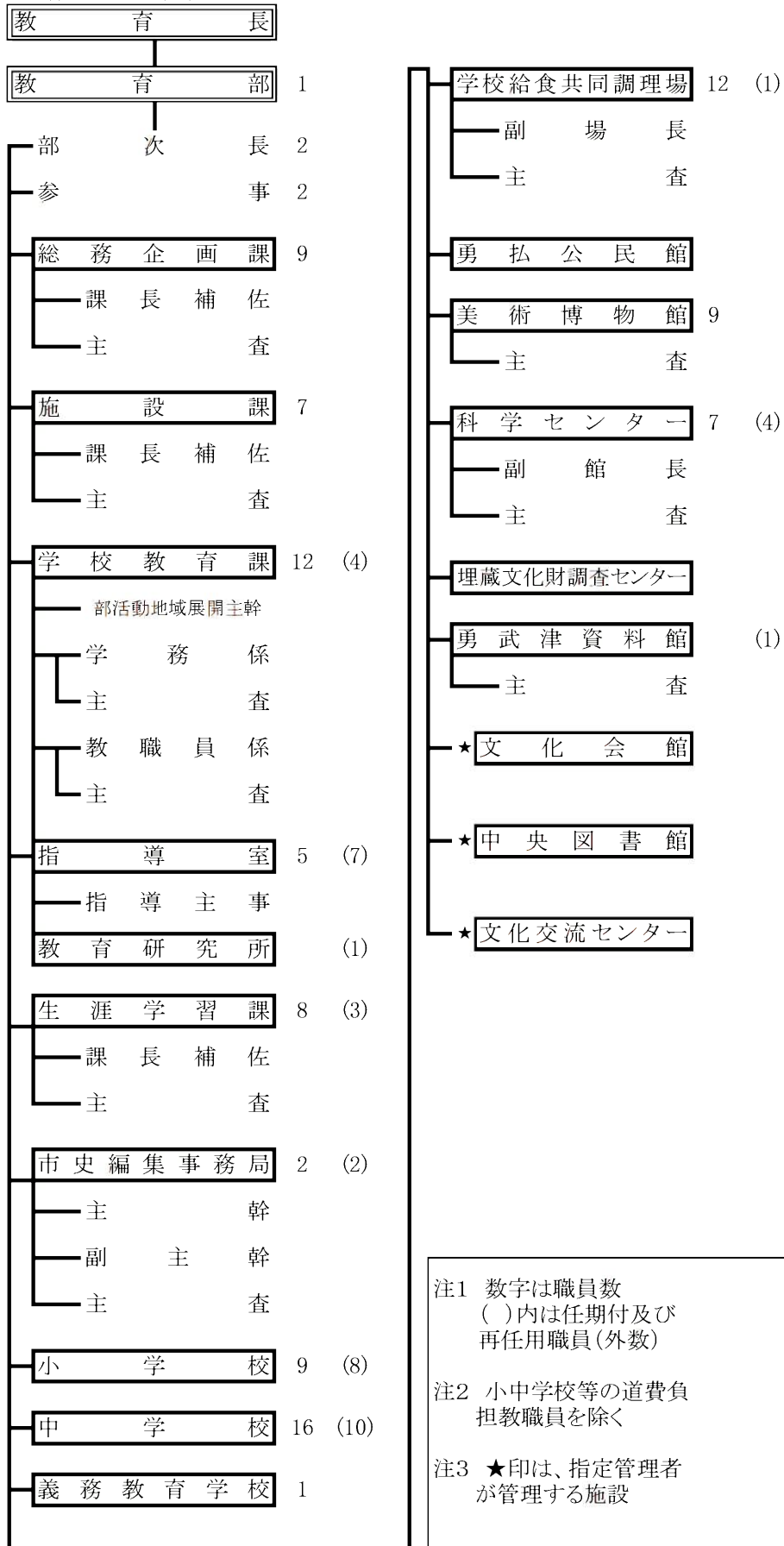
委員

高橋 憲司

2 教育委員会行政機構

令和7年10月1日現在

全体 102 (41)



注1 数字は職員数
()内は任期付及び
再任用職員(外数)

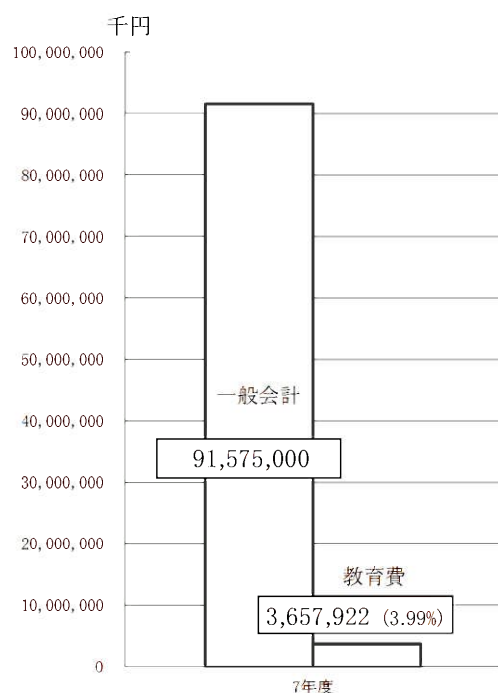
注2 小中学校等の道費負
担教職員を除く

注3 ★印は、指定管理者
が管理する施設

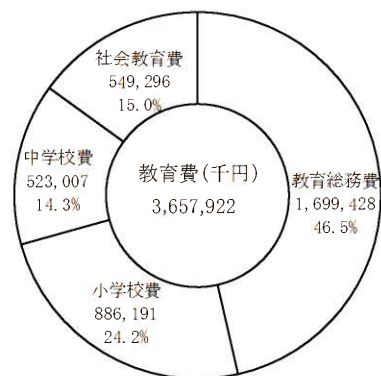
【総務企画課】 ・教育の大綱の策定に関する事。 ・総合教育会議に関する事。 ・委員会の会議及び委員会の委員に関する事。 ・教育委員会規則等の制定改廃に関する事。 ・公告式に関する事。 ・請願、陳情等の処理に関する事。 ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する事。 ・職員（道費負担教職員（以下「教職員」という。）を除く。以下同じ。）の任免、給与その他人事に関する事。 ・職員の服務並びに職務専念義務免除及び営利企業等従事許可の基準に関する事。 ・職員の公務災害に関する事。 ・安全衛生委員会に関する事。 ・職員団体等に関する事。 ・組織等に関する事。 ・物品（1 件の予定価格が 30 万円以上 150 万円未満のものに限る。）の購入に係る契約に関する事。 ・教育財産の管理に関する事。 ・公印の調製、改廃等に関する事。 ・文書の管理に関する事。 ・学校教育に係る課題についての調査及び検討の総括に関する事。 ・教育行政の広報及び相談に関する事。 ・個人情報保護及び情報公開に係る連絡調整等に関する事。 ・育英奨学に関する事。 ・私立学校（幼稚園及び大学を除く。）に関する事。 ・主管に係る歳入に関する事。 ・学校における情報通信環境の整備、運用及び管理に関する事。 ・その他主管に関する事。 【施設課】 ・学校敷地の設定及び変更に関する事。 ・学校施設の新築及び増改築の計画に関する事。 ・学校施設及び学校敷地の維持管理及び補修に関する事。 ・その他主管に関する事。	【学校教育課】 <学務係> ・学校の設置、管理及び廃止に関する事。 ・学齢児童及び生徒の就学、入学、転学及び退学並びに就学義務の猶予及び免除に関する事。 ・通学区域に関する事。 ・教科用図書の採択及び教材等の整備に関する事。 ・就学の奨励及び援助に関する事。 ・学校保健及び学校安全に関する事。 ・学校の環境衛生に関する事。 ・その他主管に関する事。 <教職員係> ・教職員の任免及び給与の内申その他人事に関する事。 ・教職員の服務に関する事。 ・教職員の研修に関する事。 ・教職員の厚生福利に関する事。 ・教職員住宅に関する事。 ・学級編成に関する事。 ・その他主管に関する事。 <係に属しない事務> ・部活動の地域展開に関する事。 ・その他主管に関する事。 【生涯学習課】 ・文化芸術の振興に関する事。 ・市民文化芸術審議会に関する事。 ・市民文化芸術振興基金に関する事。 ・文化賞及び文化奨励賞に関する事。 ・文化財の保護及び管理に関する事。 ・文化財保護審議会に関する事。 ・社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 9 条の 3 第 1 項に定める事項に関する事。 ・生涯学習推進基本計画の策定、実施その他の生涯学習の推進に関する事。 ・社会教育委員に関する事。 ・学校開放事業に関する事。 ・はたちを祝う会に関する事。 ・ユネスコ活動に関する事。 ・図書館に関する事。
--	---

・文化会館に関すること。 ・文化交流センターに関すること。 ・その他主管に関すること。 【市史編集事務局】 ・苦小牧市史編集に関すること。 【指導室】 ・教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導及び助言に関すること。 ・学校訪問指導に関すること。 ・教育内容、教育方法等の調査及び研究に関すること。 ・教育相談に関すること。 ・教育研究所に関すること。 ・その他主管に関すること。 【学校給食共同調理場】 ・学校給食の献立、調理及び運搬並びに栄養指導に関すること。 ・学校給食用物資の保管・管理及び利用に関すること。 ・予算の経理に関すること。 ・学校給食共同調理場運営審議会に関すること。 ・その他主管に関すること。 【美術博物館】 ・歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。 ・美術博物館資料の調査及び研究に関すること。 ・美術博物館資料の解説書、目録、調査及び研究に係る報告書等の作成及び頒布に関すること。 ・美術博物館資料に係る講習会、研究会、観察会、鑑賞会等の開催に関すること。 ・展覧会、展示会の開催その他の芸術活動の普及のための利用に供すること。 ・その他前条の目的を達成するため必要な事業 【埋蔵文化財センター】 ・埋蔵文化財の調査及び研究に関すること。 ・埋蔵文化財及びその資料の収集、整理及び保管に関すること。 ・埋蔵文化財に関する知識の普及に関すること。 ・その他前条の目的を達成するため必要な事業	【科学センター】 ・科学及び科学技術に係る資料及び装置の展示に関すること。 ・科学及び天文に係る実験、実習及び講習会等の開催に関すること。 ・プラネタリウム投影及び天体観測会の開催に関すること。 ・科学及び科学技術に係る資料及び情報の収集、調査及び提供に関すること。 ・その他条例第1条の目的を達成するため必要な事業 【勇払公民館】 ・事業の企画及び執行に関すること。 ・使用許可及び使用料に関すること。 ・施設及び設備の維持管理に関すること。 ・予算の経理に関すること。 ・その他主管に関すること。 【勇武津資料館】 ・資料の収集、保管及び展示に関すること。 ・資料の調査に関すること。 ・資料に関する講演会、研究会等に関すること。 ・市民の学習及び文化活動の場の提供に関すること。 ・その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業
--	---

3 教育予算



令和7年度教育費



令和7年度 主要事業 (抜粋)

項 目	金額(千円)	内 訳
外国語教育推進事業費	78,043	
校務用パソコン整備事業費	123,542	
コミュニティ・スクール(CS)事業費	10,813	
学習用ICT環境整備事業	206,766	
生徒指導対策推進事業	54,500	
学校給食残渣資源化事業費	1,943	
多子世帯給食費助成事業	23,505	
学校図書館用図書整備費	15,068	小学校 7,402 中学校 7,666
樽前小学校改築事業費	113,511	
中学校部活動地域展開事業費	12,111	
中学校保健室冷房設備設置事業費	38,820	
文化芸術振興計画事業費	12,316	
苫小牧市史編集事業費	6,658	
勇払公民館施設整備事業費	2,068	
美術博物館特別展事業費	6,313	

令和7年度 胆振管内
教育推進の重点

【推進テーマ】子どもの「よさ」を徹底的に伸ばす学校づくり ～学校、地域、社会のウェルビーイングの向上～

重点1 資質・能力の向上 重点2 特別支援教育の充実 重点3 生活・学習習慣の確立 重点4 地域との連携・協働 重点5 教員の人材育成 重点6 働き方改革の推進

令和7年度 苫小牧市学校教育推進の重点

小中学校の9年間の確かな成長を目指して ～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

重点1 資質・能力の向上

- 自己選択・自己決定による学びの創造と深化を通して、資質・能力を高める教育活動の工夫改善
- 資質・能力を活用し、さらに伸ばすための各学校の組織的・系統的な取組及び学校間の連携強化
 - 共通取組場面の適切な位置付けによる個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（学）
 - 学びの目的に応じたICT活用力の育成を図る系統的な学習活動の推進（学）
 - コミュニケーション活動を重視した外国語授業の創意工夫と改善（学）
 - 思考・活動場面の調和がとれた体育授業の充実（学）

重点2 豊かな心の育成

- 教育活動全体を通じた組織的・計画的な道徳教育の推進
- 全ての教育活動を通じて取り組むいじめ防止に向けた取組の促進
 - 道徳教育の要たる道徳科の授業の質の向上（学）
 - よりよい生き方を多面的・多角的に考え、「生」に対する希望と敬いを育む「こころの授業」の充実（学）
 - 多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生の実現に向けた人権教育や性教育の充実（学）
 - 「いじめ見逃しゼロ」の徹底と、いじめ根絶に向けた児童生徒の主體的な取組の充実（学）
 - 心理的安全性の高い学校・学級風土の醸成（学）

重点3 特別支援教育の充実

- 連続性のある多様な学びの場の整備と学校間等の連携強化
- 共生社会実現に向けたインクルーシブ教育の充実
 - 切れ目のない一貫した指導や支援の充実（教・学）
 - 児童生徒の発達や障がいに応じて、個に適した学びの保障に向けた包括的支援体制の強化（教・学）
 - 自立と共生を育む交流及び共同学習の充実（学）
 - ICT活用による困り感の解消と学習効果の向上（学）
 - 管理職を含むすべての教員の特別支援教育に関する専門性の向上（教・学）

重点4 自立を促す基本的習慣の確立

- 学校、家庭、地域との連携・協働による生活・学習習慣の確立と不登校対策の推進
 - 児童生徒の発達段階に応じた適切なスクリーンタイムの習慣化を図る取組の創意工夫（教・学）
 - 全小・中学校への校内教育支援センターの設置（教・学）
 - SSWや教育支援センター、フリースクール等との連携によるきめ細やかな相談・支援体制強化（教・学）
 - オンライン授業など個に応じた学習機会の確保（学）

重点5 学校と地域の連携・協働の推進

- 幼小、中高を含む学校段階間の連携・接続の推進
- 社会との連携・協働による教育活動の構築
 - エリアで目指す15歳の姿を具現化するための学びの連続性と系統性を重視した教育活動の充実（学）
 - 子どもたちが夢と期待感をもって進学するための体験・交流活動、スタートカリキュラムの充実（教・学）
 - 関係機関・地域人材等との連携による学習活動の充実（夢実現教育、ふるさと教育、国際交流等）（教・学）
 - コミュニティ・スクールの推進状況の交流・改善（教・学）

重点6 質の高い教職員集団の形成

- 専門性と強みを発揮できる教職員の育成
- 不祥事根絶に向けた意識の醸成
 - 指導観を転換し、授業力の向上を図る実践的研修の充実（教・学）
 - 授業や校務におけるICTの効果的活用を通じた業務の質の向上と効率化の促進（学）
 - 部活動の地域展開に向けた段階的推進（教・学）
 - 教職員事故の防止・服従規律の徹底に向けたコンプライアンス研修の充実（教・学）

学校における
重点達成への鍵

【見通す】

目指す子ども像の具現化に向けた取組及びゴールイメージの共有化を図る

【決定する】

職場の心理的安全性を保ち、自走する教職員集団を形成する

【協働する】

強固な信頼関係を基盤とした学校・家庭・地域の役割連携を強化する

【振り返る】

エビデンスをもとに短期的な成果検証を行い、精選・徹底・継続により組織的改善を図る

Ⅱ 学 校 教 育

1 苦小牧市立小中学校一覧

令和7年5月1日現在

学 校 名	住 所	電 話	学 級 数		児童生徒数(人)		開校年月日
			普通	特学	普通	特学	
苦 小 牧 西 小	矢代町3丁目7-16	72-6441	6	6	151	14	明 9. 6.10
錦 岡 小	宮前町2丁目30-2	67-0408	20	8	573	39	明23. 4. 1
勇 弘 小	字勇弘149	56-0140	4	3	39	10	明28.10. 1
沼 ノ 端 小	東開町6丁目1-1	55-0403	13	6	344	27	明36. 4.13
植苗小中(前期課程)	字植苗50	58-2134	5	1	36	3	明36.12.10
苦 小 牧 東 小	旭町1丁目7-10	32-6231	6	7	171	19	大 7. 9. 5
樽 前 小	字樽前102	67-3755	3		24		大11. 6.12
若 草 小	若草町1丁目4-5	32-6584	7	5	185	20	昭27. 8. 1
北 光 小	北光町3丁目8-2	73-8191	18	7	498	32	昭32. 2.27
緑 小	三光町2丁目6-5	32-6501	14	8	397	26	昭33.10. 1
大 成 小	大成町2丁目3-2	72-6434	10	7	222	20	昭35. 9. 1
清 水 小	清水町2丁目10-16	33-7285	8	2	191	12	昭40. 4. 1
美 園 小	美園町4丁目26-2	34-3013	13	6	359	43	昭43. 4. 1
日 新 小	日新町3丁目1-7	73-1612	11	6	267	22	昭48. 1. 1
糸 井 小	日吉町4丁目12-6	72-3912	6	4	145	20	昭50. 4. 1
北 星 小	桜木町3丁目8-6	74-2155	12	5	270	22	昭52. 4. 1
澄 川 小	澄川町2丁目4-6	67-3131	18	6	469	25	昭54. 4. 1
豊 川 小	豊川町4丁目7-14	73-8024	12	5	302	18	昭56. 4. 1
泉 野 小	川沿町4丁目5-1	72-3817	13	5	338	21	昭60. 4. 1
明 野 小	明野新町6丁目3-1	57-5611	10	5	239	23	平 6. 4. 1
拓 勇 小	拓勇東町4丁目8-1	57-2800	20	5	605	33	平14. 4. 1
ウ ト ナ イ 小	ウトナイ北3丁目2-1	57-6700	27	8	855	47	平19. 4. 1
拓 進 小	拓勇西町3丁目8-1	52-5010	20	5	606	25	平25. 4. 1
小 学 校 合 計			276	120	7,286	521	
苦 小 牧 東 中	旭町1丁目7-10	32-5231	7	5	219	19	昭22. 6. 1
勇 弘 中	字勇弘132	56-0329	3	2	27	6	昭22. 6. 2
植苗小中(後期課程)	字植苗50	58-2134	3	1	26	1	昭22. 6. 2
凌 雲 中	青雲町2丁目15-3	67-6142	7	5	209	18	昭22. 6. 4
和 光 中	双葉町1丁目11-3	32-5238	12	4	404	25	昭36. 4. 1
啓 北 中	啓北町2丁目12-11	72-7245	11	5	359	24	昭37. 4. 1
光 洋 中	光洋町2丁目5-2	72-7255	9	4	304	25	昭37. 4. 1
沼 ノ 端 中	東開町6丁目1-2	55-0340	6	4	153	11	昭40. 4. 1
開 成 中	清水町2丁目9-2	32-8278	4	3	99	11	昭47. 4. 1
明 倫 中	日新町3丁目5-13	74-2146	11	4	340	21	昭53. 4. 1
啓 明 中	はまなす町2丁目2-2	67-3115	9	3	280	13	昭57. 4. 1
明 野 中	明野新町3丁目13-1	57-1811	6	2	206	9	平 4. 4. 1
緑 陵 中	のぞみ町3丁目10-1	61-2727	9	4	261	12	平10. 4. 1
青 翔 中	拓勇東町6丁目15-1	51-2151	21	4	736	19	平21. 4. 1
ウ ト ナ イ 中	ウトナイ北2丁目5-1	57-6451	12	4	424	16	平31. 4. 1
中 学 校 合 計			130	54	4,047	230	

2 就学助成

【就学援助の実施状況】

(令和6年度実績)

	小学校		中学校		計	
	人数(人)	支給額(円)	人数(人)	支給額(円)	人数(人)	支給額(円)
学用品費等	836	11,940,530	533	14,459,720	1,369	26,400,250
体育実技用具費	187	2,208,470	88	677,360	275	2,885,830
校外活動費(宿泊有)	147	438,895	155	945,170	302	1,384,065
校外活動費(宿泊無)	368	388,680	117	196,019	485	584,699
新入学用品費	117	6,676,020	165	10,395,000	282	17,071,020
(内 入学前支給)	(87)	4,964,220	(130)	8,190,000	(217)	(14,225,580)
修学旅行費	173	4,512,466	204	13,250,980	377	17,763,446
学校給食費	836	42,565,873	533	31,650,050	1,369	74,215,923
学校病医療費	211	991,180	95	679,150	306	1,670,330
卒業アルバム購入費	149	1,597,038	168	1,467,158	317	3,064,196
英語検定受講料補助費	1	5,000	25	134,900	26	139,900
計	—	71,324,152	—	73,855,507	—	145,179,659

※校外活動費と学校病医療費は件数

【就学援助の認定者数・支給額の推移】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定者数(人)	1,562	1,487	1,369
支給額(円)	156,753,347	156,347,082	145,179,659

【特別支援教育就学奨励の実施状況】

(令和6年度実績)

	小学校		中学校		計	
	人数(人)	支給額(円)	人数(人)	支給額(円)	人数(人)	支給額(円)
学用品費等	251	1,414,075	110	1,244,071	361	2,658,146
体育実技用具費	17	100,385	5	27,110	22	127,495
校外活動費(宿泊有)	43	75,345	36	111,780	79	187,125
校外活動費(宿泊無)	169	72,024	37	33,186	206	105,210
新入学学用品費	34	868,870	36	1,097,640	70	1,966,510
修学旅行費	35	376,244	29	795,124	64	1,171,368
学校給食費	239	5,169,837	106	2,651,688	345	7,821,525
職場実習費	—	—	—	—	—	—
通学費	9	126,750	2	20,150	11	146,900
計	—	8,203,530	—	5,980,749	—	14,184,279

※校外活動費は件数

【特別支援教育就学奨励の認定者数・支給額の推移】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支給人数(人)	335	335	361
支給額(円)	13,219,721	10,552,757	14,184,279

【多子世帯給食費助成事業の認定者数・支給額】(令和6年度実績)

	令和6年度
延べ支給人数(人)	4,581
支給額(円)	20,495,318

3 特別支援教育

特別支援学級に通う子どもだけでなく、通常の学級に在籍する発達障害のある子どもも含め、一人ひとりの教育的ニーズに合わせた支援を推進している。

1 障がい別在籍数（令和7年5月1日現在）

(1) 市内特別支援学級在籍（障がい種別）

	学校種	知的	情緒	肢体	病弱	弱視	難聴	合計
各校	小学校	139 (9)	367	7 (3)	6 (1)	0	2	521 (13)
	中学校	82	139	2 (1)	5 (1)	0	2	230 (2)
合 計		221 (9)	506	9 (4)	11 (2)	0	4	751 (15)

※（ ）は、「特別支援学校で教育を受けることができる程度」の障がいの児童生徒の内数

(2) 特別支援学校在籍（小中別）

学校名	小学校	中学校	計
苫小牧支援学校（知的）	51	33	84
平取養護学校（知的）	0	7	7
手稲養護学校（知的・病弱・肢体）	1	2	3
真駒内養護学校（肢体）	0	0	0
室蘭聾学校（聴覚）	1	0	1
合 計	53	42	95

※平取養護学校は訪問教育あり。

※手稲養護学校は道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）に入院している児童生徒が通学する。

2 主な事業

(1) 特別支援学級介添員（22校 25名配置）

「特別支援学校で教育を受けることができる程度」の障がいであるが、寄宿生活への不安等から市内の小中学校特別支援学級に通う児童生徒に個別の支援を行う。

(2) 特別支援教育支援員（36校 44名配置）

通常学級に通う児童生徒で、発達障害が疑われる等個別の支援が必要な場合にニーズに応じた学習支援及び教育相談業務を行う。

【特別支援学級在籍状況】
（小学校・義務教育学校【前期課程】）

学校名	障がい	学級数	在籍数(人)
苦小牧東	知的	1	4
	肢体	1	1
	難聴	1	1
	情緒	4	13
苦小牧西	知的	1	4
	病弱	1	1
	情緒	4	9
若草	知的	2	6
	情緒	3	14
緑	知的	2	8
	肢体	1	1
	病弱	1	1
	情緒	4	16
北光	知的	1	6
	難聴	1	1
	情緒	5	25
勇払	知的	1	1
	情緒	2	9
大成	知的	3	9
	情緒	4	11
錦岡	知的	2	11
	肢体	1	1
	病弱	1	1
	情緒	4	26
沼ノ端	知的	1	6
	肢体	1	2
	病弱	1	1
	情緒	3	18
清水	知的	1	4
	情緒	1	8
美園	知的	2	13
	情緒	4	30
日新	知的	2	4
	病弱	1	1
	情緒	3	17
糸井	知的	1	6
	情緒	3	14
北星	知的	2	6
	情緒	3	16
澄川	知的	1	5
	病弱	1	1
	情緒	4	19
豊川	知的	1	4
	情緒	4	14
植苗(前期課程)	知的	1	3
	知的	1	7
泉野	肢体	1	1
	情緒	3	13
明野	知的	1	3
	情緒	4	20
拓勇	知的	1	7
	情緒	4	26
ウトナイ	知的	2	13
	肢体	1	1
	情緒	5	33
拓進	知的	2	9
	情緒	3	16
合計		120	521

【通級指導教室在籍状況】(中 学 校)

学校名	障がい	在籍数(人)
苦小牧東	情緒	24
勇払	情緒	1
光洋	情緒	16
啓北	情緒	20
和光	情緒	15
凌雲	情緒	16
沼ノ端	情緒	12
開成	情緒	5
明倫	情緒	14
啓明	情緒	9
明野	情緒	12
緑陵	情緒	8
青翔	情緒	18
ウトナイ	情緒	10
合計		180

（中学校・義務教育学校【後期課程】）

学校名	障がい	学級数	在籍数(人)
苦小牧東	知的	1	6
	病弱	1	1
	情緒	3	12
勇払	知的	1	3
	情緒	1	3
光洋	知的	2	11
	情緒	2	14
啓北	知的	2	8
	肢体	1	1
	情緒	2	15
和光	知的	1	8
	病弱	1	1
	情緒	2	16
凌雲	知的	2	8
	病弱	1	1
	情緒	2	9
植苗(後期課程)	知的	1	1
	知的	1	3
沼ノ端	病弱	1	1
	情緒	2	7
開成	知的	1	2
	情緒	2	9
明倫	知的	1	7
	病弱	1	1
	情緒	2	13
啓明	知的	1	4
	情緒	2	9
明野	知的	1	5
	情緒	1	4
緑陵	知的	1	2
	難聴	1	1
	情緒	2	9
青翔	知的	2	10
	難聴	1	1
	情緒	1	8
ウトナイ	知的	1	4
	肢体	1	1
	情緒	2	11
合計		54	230

【通級指導教室在籍状況】(小 学 校)

学校名	障がい	在籍数(人)
苦小牧東	言語	2
	情緒	11
苦小牧西	言語	2
	情緒	18
若草	言語	1
	情緒	21
緑	情緒	32
北光	情緒	36
勇払	情緒	3
大成	言語	1
	情緒	22
錦岡	言語	7
	情緒	46
沼ノ端	言語	1
	情緒	39
植苗	言語	2
	情緒	2
清水	情緒	8
美園	言語	2
	情緒	40
日新	言語	1
	情緒	20
糸井	情緒	5
北星	言語	1
	情緒	17
澄川	言語	2
	情緒	37
豊川	言語	1
	情緒	26
泉野	言語	1
	情緒	16
	言語	1
明野	情緒	17
	言語	2
拓勇	言語	28
	情緒	2
ウトナイ	言語	3
	情緒	61
拓進	言語	2
	情緒	36
合計		573

4 学 校 保 健

健康で明るい生活を送るためには、児童・生徒が健康の保持・増進と生命の安全について教育の場を通じ実践により身につけていくことが大切である。

このために定期健康診断・各種検診校の実態に即した保健指導を行って疾病の早期発見と予防に努めている。

【児童・生徒の体位比較】 (令和6年度実績)

区 分		身長 (c m)		体重 (k g)	
		男	女	男	女
小 学 校	1年	116.6	116.3	22.7	22.0
	2年	121.9	122.7	24.3	23.9
	3年	127.9	128.4	27.7	28.8
	4年	134.1	134.4	32.1	30.0
	5年	140.3	141.3	36.8	37.7
	6年	146.1	148.0	41.5	41.4
中 学 校	1年	154.4	142.5	44.3	45.6
	2年	160.6	155.2	48.2	45.6
	3年	166.2	156.5	53.2	49.4

【児童・生徒心臓検診結果状況】 (令和6年度実績)

学 校	対 象 数	受 検 数	実施率	要精検者数		
				精 検 受検者	精 検 未受診者	計
小学校	1,230	1,228	99.8	23	23	46
中学校	1,461	1,454	99.5	33	21	54
計	2,691	2,682	99.7	56	44	100

【各種検診等の状況】

(令和6年度実績)

(単位：人)

区 分			小 学 校												中 学 校									
			1年		2年		3年		4年		5年		6年		計		1年		2年		3年		計	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
視 力 検 査	受検者数		625	558	624	598	662	572	671	489	610	529	542	450	3,734	3,196	511	439	486	386	451	376	1,448	1,201
	裸 眼 視 力	1.0以上	442	371	454	404	470	357	415	295	401	297	365	282	2,547	2,006	283	220	249	192	228	176	760	588
		1.0未満	125	119	86	100	89	89	96	72	70	80	75	60	541	520	80	73	98	77	85	75	263	225
		0.7未満	51	55	64	67	82	94	108	83	94	105	74	69	473	473	83	91	91	70	85	81	259	242
		0.3未満	7	13	20	27	21	32	52	39	45	47	28	39	173	197	65	55	48	47	53	44	166	146
口 腔 検 査	受検者数		615	573	640	631	684	626	764	590	729	661	712	678	4,144	3,759	687	678	684	657	668	635	2,039	1,970
	う歯のない者		435	387	358	348	354	327	419	323	404	414	484	469	2,454	2,268	478	464	500	466	476	433	1,454	1,363
	う 歯	処置完了者	70	72	104	123	169	133	156	118	154	117	112	100	765	663	87	99	90	92	79	92	256	283
		未処置のある者	131	103	178	164	163	155	189	149	171	122	113	122	945	815	122	115	94	99	113	110	329	324

【児童生徒尿検査実施状況】

(令和6年度実績)

(単位：人)

小 学 校									
一次検査					二次検査				
検査人数	蛋白	糖	潜血	陽性者計	検査人数	蛋白	糖	潜血	陽性者計
8,092	32	5	27	58	36	6	0	6	9
中 学 校									
一次検査					二次検査				
検査人数	蛋白	糖	潜血	陽性者計	検査人数	蛋白	糖	潜血	陽性者計
4,344	71	11	63	136	85	7	0	7	13

【災害共済給付件数】

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	515	529	569
中学校	612	757	701
計	1,127	1,286	1,270

5 学 校 給 食

【施設の概要】

名 称	第1学校給食共同調理場	第2学校給食共同調理場
所 在 地	柳町1丁目3番5号	美原町3丁目9番10号
電 話 番 号	57-5881	67-1815
建 設 面 積	4,453.51㎡(排水処理施設含む)	2,549.51㎡(排水処理施設含む)
敷 地 面 積	10,000㎡	7,473.75㎡
設置年月日	平成24年4月1日	令和4年1月1日
構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造

【給食の実施状況】

区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
小 学 校	23校	9,276食	22校	9,000食	22校	8,714食	22校	8,437食
中 学 校	16校	4,845食	14校	4,803食	14校	4,764食	14校	4,696食
義務教育学校	-	-	1校	87食	1校	87食	1校	88食
支 援 学 校	1校	93食	1校	117食	1校	132食	1校	133食
計	39校	14,214食	38校	14,007食	38校	13,697食	38校	13,354食

【給食費の状況】

区 分	主食	牛乳	おかず	(1食当り)計	年間給食回数	月給食費	年間給食費
小 学 校	99.88円	60.41円	151.71円	312円	199回	5,180円	62,160円
中 学 校	120.53円	60.41円	183.06円	364円	199回	6,040円	72,480円

【苦小牧市の栄養基準量】

		エネルギー	蛋白質	脂肪	ナトリウム (食塩相当量)	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	亜鉛
		kcal	g	%	g	mg	mg	mg	A μgRAE	B1 mg	B2 mg	C mg	g	mg
小学生	低学年	530	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%	1.5未満	290	40	2	160	0.3	0.4	20	4以上	2
	中学年	650			2未満	350	50	3	200	0.4	0.4	25	4.5以上	2
	高学年	780			2未満	360	70	3.5	240	0.5	0.5	30	5以上	2
中学生		830			2.5未満	450	120	4.5	300	0.5	0.6	35	7以上	3

【給食献立】

品 目	回 数	内 容
ご飯	週3回 東・中央・西地区 月・水・金	白飯、麦ご飯、わかめご飯ほか
パン	週1回 東地区 火 中央・西地区 木	スライスパン、コッペパン、バーガーパン、黒糖パン(乳・卵不使用)、ココアパン(乳・卵使用) ほか
麺類 その他	月3回程度 東地区 木 中央・西地区 火	スパゲティ(ミートソース・クリームスパゲティ等)、ラーメン(醤油・味噌・塩等)、うどん(肉・五目・カレー等)、ナン、冷凍パン ほか
牛 乳	週5回	乳アレルギーのある児童生徒に対しては豆乳(200ml)を代替提供 ※豆乳アレルギーの場合は、麦茶提供

6 苫小牧市教育研究所

【沿革】

昭和45年 4月 1日	苫小牧市教育研究所開設（市教育委員会内に設置）
50年11月 7日	市長公宅（元あおば教室）内に転居
54年10月29日	苫小牧市文化会館4階に転居
55年10月16日	開設10周年記念誌発刊
63年 5月24日	登校拒否指導委員会（現不登校対策委員会）発足
平成 2年10月 1日	開設20周年記念誌発刊
3年11月18日	第1回巡回教育相談実施
4年 1月22日	夜間教育相談電話開設
6年 6月12日	文化会館から旧裁判所に転居
7年 4月 1日	スクールカウンセラー、専任電話相談員配置
12年12月25日	開設30周年記念誌発刊
19年 8月 1日	「いじめ110番電話」直接受理時間延長（9～21時）
21年 4月 1日	現在地（教育・福祉センター4階）に移転する
22年 4月 1日	苫小牧市教育研究所開設40周年
23年10月18日	胆振教育講演会（ノーベル化学賞受賞北大名誉教授 鈴木 章 氏）
25年 4月 1日	教育相談業務「いじめ110番電話」指導室へ移管
26年 4月 1日	教職員相談事業開始
27年 8月 5日	教育講演会「防災教育の現状と課題」 （岩手県釜石市立釜石小学校 前校長 渡辺 真龍 氏）
28年11月21日	教育講演会「小中連携教育から小中一貫教育へ」 （京都産業大学文化学部 教授 西川 信廣 氏）
29年11月21日	教育講演会「学校・家庭・地域のよりよい関係づくりを考える」 （大阪大学大学院人間科学研究科 教授 小野田 正利氏）
令和 元年11月11日	教育講演会「家庭と子育てに必要なこと」 （HBCラジオ「金子耕式のファミリートーク」金子 耕式 氏）
7年10月28日	教育講演会「不登校やゲーム依存など、児童精神科医療の現場でおきていることとその予防に役立つこと」（旭川圭泉会病院 精神科医師 佐々木 彰 氏）

【所在地】

本幸町1丁目2番21号 電話番号 36-4152 FAX 36-2844

【事業概要】

- 研究委員会による研究事業
 - 授業改善研究委員会
 - 外国語研究委員会
 - 特別支援教育研究委員会
 - 不登校対策研究委員会
- 研究委嘱校による研究事業
 - 拓進小学校
 - 北星小学校
 - 啓北中学校
 - ウトナイ中学校
- 研修講座開設事業
 - 教育経営に関する講座
 - 生徒指導に関する講座
 - 授業改善に関する講座
 - 体力向上に関する講座
 - 性教育に関する講座
 - 特別支援教育に関する講座
 - 研究成果発表などの講座
 - 夕べの講座・夕べの授業改善講座（ミニ講座）

4 広報活動に関する事業

- (1) 研究所報「潮流」の発行 (2) 研究所誌「教育の広場」の発行

5 研究図書・資料等の整備・資料の管理

- (1) 学校・関係機関への情報提供と図書・資料の貸出し
(2) O A管理による図書・資料の整理

6 関係機関・関係団体等との連携事業

- (1) 道内各研究所との共同による研究の推進（北海道教育研究所連盟の各種研究）
(2) 全国の各研究所との研究資料・研究発表図書などの提携・交流

7 教育相談事業（平成26年度より）

- (1) 教職員相談事業

8 施設の利用状況

項 目	内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年 間 利用状況	9 時～12 時	114 件	140 件	102 件
	13 時～17 時	207 件	206 件	198 件
	17 時～18 時 30 分	7 件	4 件	3 件
	合 計	328 件	350 件	303 件
年間利用者	9 時～12 時	2,295 人	2,495 人	1,944 人
	13 時～17 時	3,386 人	4,792 人	4,401 人
	17 時～18 時 30 分	512 人	157 人	78 人
	合 計	6,193 人	7,444 人	6,423 人

7 教育支援センター

(あおば学級・トピリカ学級・山なみ学級)

【沿革】

平成	8年	6月14日	旧市長公宅（青葉町）にあおば学級を開設
	21年	4月1日	苫小牧市教育・福祉センター開設に伴いあおば学級を移転（本幸町）
	25年	4月1日	苫小牧東中学校内にあおば学級の分室を開設（現在は分室閉鎖）
令和	3年	4月1日	苫小牧市沼ノ端交流センター・児童センター内に市内2つ目の学校適応指導教室としてトピリカ学級を開設
令和	5年	4月1日	名称を「学校適応指導教室」から「教育支援センター」に変更
令和	5年	4月1日	苫小牧市教育支援センター山なみ（旧啓北中学校山なみ分校）に市内3つ目の山なみ学級を開設

【所在地】

《 あおば学級 》

本幸町1丁目2番21号 苫小牧市教育・福祉センター内5F
TEL 33-5541 FAX 33-5512

《 トピリカ学級 》

北栄町3丁目3番3号 苫小牧市沼ノ端交流センター・児童センター内
TEL 080-8807-4765

《 山なみ学級 》

有珠の沢3丁目9番7号 苫小牧市教育支援センター山なみ
TEL 73-8910

【開設期間等】

- ・開設期間 4月から翌年の3月まで
- ・開設曜日 月曜日から金曜日まで
- ・開設時間 全学級、午前10時00分から午後2時00分まで

【目的及び基本方針】

市内の小・中学校に在籍する登校することが難しい児童生徒に対して、適切な教育相談、適応指導、学習指導などの教育機会を確保し、望ましい人間関係づくりの育成や自らを調整できる能力の育成など、学校生活への復帰や自らの進路を主体的に捉え、社会的自立につなげる支援を行うことを目的として設置する。

基本方針は次のとおり。

- (1) 一人一人の実態を考慮し、情緒的な安定を図るよう適切な支援をしつつ、基本的な生活習慣や対人関係の改善に努め、社会性と自立心の発達を促す。
- (2) 一人一人の児童生徒の学力に応じた学習を行い、学校生活への不安を解消できるよう支援し、学校生活に対する意欲を高める。
- (3) 保健体育的な学習や体験的な活動を通して、生活リズムの改善や最後までやり遂げる力を養う。
- (4) 保護者や在籍校と連携を密にとりながら指導・支援を進める。
- (5) 実態に応じて、心の居場所を提供することに重点を置き、段階的な指導の工夫を図る。

【指導及び運営】

指導は、専任指導員（任期付職員4名、会計年度任用職員4名）を配置し行う。
運営について、必要に応じ苫小牧市教育支援センター運営委員会と協議し進める。

8 苫小牧市育英会・苫小牧市交通遺児育英会

【奨学金等の額】

学 校 区 分	苫小牧市育英会			苫小牧市交通遺児育英会	
	奨学金 (月額)	入学一時金	奨学給付金 (月額)	奨学金 (月額)	就学支度金 (年額)
	貸与		給与	給与	
大 学 等	15,000円 30,000円 (注1)	50,000円 (注2)	8,000円	－	40,000円
高等専門学校	10,000円 (注3)	50,000円	5,000円 (注3)	－	40,000円
高 等 学 校 等	10,000円	30,000円	5,000円	10,000円	30,000円
小 中 学 校	－	－	－	－	20,000円

注1：いずれかの金額を選択

注2：本市に所在する大学は70,000円

注3：1～3年次のみ、4・5年次は大学と同額

【対象となる学校の範囲】

- 1 大 学 等：大学（夜間部を含む）、短期大学（専攻科を含む）、専修学校（専門課程）
- 2 高等専門学校（専攻科を含む）
- 3 高等学校等：高等学校（定時制課程を含む）、専修学校（市内の高等課程）、各種学校（市内）

※ 予備校は除く

【奨学生の状況】 ～令和7年度採用・継続者数～ (人)

学 校 区 分	苫 小 牧 市 育 英 会			苫小牧市交通 遺児育英会
	奨 学 金	入 学 一 時 金	奨 学 給 付 金	
大 学 等	13	－	30	0
高等専門学校	1	－	2	0
高 等 学 校 等	9	－	18	0
小 中 学 校	－	－	－	0
合 計	23	－	50	0

【年度別採用者数】 (人)

区 分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
苫小牧市 育英会	奨学金	大 学 等	8	5	1	1
		高 等 専 門 学 校	1	0	0	0
		高 等 学 校 等	2	6	5	1
	入 学 一 時 金		3	6	6	1
	奨 学 給 付 金	大 学 等	10	10	8	6
		高 等 専 門 学 校	0	0	1	1
		高 等 学 校 等	5	5	7	6
苫小牧市交通 遺児育英会	大 学 等、高 等 専 門 学 校		0	0	0	0
	高 等 学 校 等		0	0	0	0
	小 中 学 校		0	0	0	0

Ⅲ 社会教育

1 生涯学習

(1) 生涯学習推進基本計画（第六次）

すべての人が学び続けることで活躍できる社会の実現に向け、3つの基本施策のもとに生涯学習の推進に取り組めます。

基本施策		推進の方向性		施策の展開	
Ⅰ	主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支えるひとづくり	1	個性とライフステージに合わせた学ぶ機会の充実	(1)	子どもの健やかな発達と学びの支援
				(2)	青少年の豊かな心を育む学びの支援
				(3)	成人の学びの継続・学びなおしの支援
				(4)	長寿社会のニーズに合わせた学びの支援
				(5)	障がいのあるなしに関わらず心豊かに暮らすための学びの支援
				(6)	共生社会の実現に向けた、すべての市民への学びの支援
Ⅱ	いつでも、誰とでも学べる環境づくり	2	学習グループや団体・企業との連携	(7)	団体・企業と行政の連携と発展
				(8)	協働による学習の推進
				(9)	ボランティア活動の啓発と支援
		3	ICTの活用による学習環境の充実	(10)	学習支援情報の収集・提供
				(11)	情報の共有化による学習支援ネットワークの展開
		4	地域・市民、高等教育機関と連携した協働体制の充実	(12)	学校と地域の連携、地域活性化による学びの支援
				(13)	まちづくりへの参加促進と学習の成果を生かした市民参画
				(14)	高等教育機関などの講座や教室との連携
Ⅲ	文化・芸術がいつも身近にあるまちづくり	5	文化・芸術に触れる機会、環境の充実	(15)	生涯学習関連施設機能の充実
				(16)	音楽やアートに関連する事業の展開
				(17)	文化財の積極的な活用

(2) 文化芸術・文化財等

文化芸術振興のため、学校教育における文化芸術活動を支援、文化芸術を担う人材の育成及び発表、鑑賞機会の充実や環境整備に努めます。

また、文化財の保護及び管理に努めます。

【苫小牧市の主な社会教育団体】

団体名称	会長名	構成団体	会員数	連 絡 先
苫小牧市文化団体協議会	林 廣志	145	3,443	事務局(文化会館内)
苫小牧市女性団体連絡協議会	榎本 郁子	13	50	事務局(会長宅)
苫小牧市PTA連合会	西山 真綾	37	9,847	事務局(教育研究所内) 火・水・木
勇払千人隊芸能保存会	明村 亨		60	事務局(会長宅)
苫小牧ユネスコ協会	藤田 広美		15	生涯学習課

【苫小牧市文化賞・文化奨励賞】

本市の文化の向上発展に関し実績の顕著な個人、団体を表彰し、文化の普及・振興を図ります。

(文化賞受賞者)

年 度	氏 名	分 野
平成 16 年	駒澤大学附属苫小牧高等学校野球部	教育(スポーツ)
平成 17 年	楠野 四夫	教育(社会教育)
平成 18 年	香田誉士史	教育(学校教育)
平成 20 年	森山 弘毅	人文科学(文学)
平成 21 年	横山順一郎	教育(社会教育)
平成 22 年	伊藤 文男	芸術(民謡)
〃	苫小牧郷土文化研究会	教育(社会教育)
平成 23 年	河原 忠敏	芸術(書道)
平成 25 年	苫小牧美術協会	教育(社会教育)
平成 26 年	入谷 壽一	教育(社会教育)
平成 27 年	名取 光恵	芸術(俳句)
令和 5 年	高橋 伸	芸術(美術)
〃	苫小牧市民文芸編集委員会	芸術(文学)
令和 6 年	大坪 弘之	教育(社会教育)

(文化奨励賞受賞者)

年 度	氏 名	分 野	年 度	氏 名	分 野
平成 16 年	高野池 一郎	芸術(俳句)	平成 25 年	田中 忠勝	教育(社会教育)
平成 17 年	佐々木 甫	芸術(舞踊)	平成 26 年	内潟 光尚	教育(社会教育)
〃	西川 辰美	教育(社会教育)	〃	大沢 充矩	芸術(書道)
〃	向井 美賀子	芸術(舞踊)	〃	澤田 周一	芸術(詩吟)
平成 18 年	小崎 正司	芸術(陶芸)	〃	星川 成一	教育(社会教育)
〃	佐藤 栄	教育(社会教育)	平成 27 年	砂澤 代恵子	教育(社会教育)
〃	高橋 正敏	芸術(美術)	平成 28 年	星野 恒隆	芸術(美術)
平成 19 年	角田 勝吉	芸術(書道)	平成 29 年	藤沢 礼央	芸術(美術)
〃	坂上 真理子	芸術(ダンス)	平成 30 年	おはなしオルゴール	教育(社会教育)
〃	苫小牧相撲協会	教育(スポーツ)	令和元年	黒岩 真美	芸術(音楽)
平成 20 年	北海道苫小牧南高等学校演劇部	芸術(演劇)	令和 2 年	坂東 登喜春	芸術(舞踊)
〃	苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会	教育(社会教育)	令和 4 年	北海道苫小牧総合経済高等学校 マーケティング部	教育(社会教育)
平成 21 年	清水頭 浩一	教育(社会教育)	令和 5 年	苫小牧絵手紙の会	教育(社会教育)
〃	サカイスポーツ野球部	教育(スポーツ)	〃	北海道苫小牧南高等学校放送局	教育(社会教育)
平成 22 年	苫小牧市立勇払中学校	教育(学校教育)			
平成 24 年	木津 繁	教育(社会教育)	令和 6 年	上林 学	芸術(音楽)

【苫小牧市民文化芸術審議会】

平成 14 年 4 月 1 日付けで制定された「苫小牧市民文化芸術振興条例」に基づき設置されました。

市民公募と市内の芸術家、文化団体の代表など合わせて 10 名で構成され、市の文化芸術の振興を推進する施策などを審議します。

【文化財】

先人から送られた貴重な地域文化遺産の保護及び管理に努め、郷土に対する認識を深めるとともに教育文化の向上を図ります。

国指定文化財

種類	名称	所在地	指定年月日
史跡	静川遺跡	字静川 93 番地 7～11	昭和 62 年 1 月 8 日

静川遺跡は、縄文時代中末期（約 4 0 0 0 年前）につくられたといわれており、環濠は、生活していた空間と特別な空間を区切るために使われたと考えられ、神聖な場所として使われたのではないかという説もあります。環濠の溝を掘り巡らせることは数十年にも及ぶ大変な作業です。縄文時代は道具も未発達で、文化レベルの低い停滞した時代と考えられていましたが、完成までに費やされた時間やエネルギーから縄文時代の文化力が高かったことを伝えています。

このように静川遺跡は縄文社会を支えた精神性や文化力を知る上で重要な遺跡であることから、国の史跡として指定されています。

国登録有形文化財

種類	名称	所在地	登録年月日
有形文化財	北海道大学苫小牧研究林 森林記念館(旧標本貯蔵室)	字高丘無番地	平成 12 年 4 月 28 日

北海道指定文化財

種類	名称	所在地	指定年月日
史跡	開拓使三角測量勇払基点	字勇払 132 番地 49	昭和 42 年 3 月 17 日
天然記念物	樽前山熔岩円頂丘	字樽前国有林内	〃
有形文化財	アイヌ丸木舟及び推進具	末広町 3 丁目 9 番 7 号 美 術 博 物 館	昭和 42 年 6 月 22 日

苫小牧市指定文化財

種類	名称	所在地	指定年月日
史跡	勇払会所の跡	字勇払 50 番地 4・12	昭和 31 年 3 月 10 日
〃	蝦夷地開拓移住隊士の墓	字勇払 132 番地 38	〃
民俗文化財	勇払恵比須神社奉納品 21 点	字勇払 138 番地 1	昭和 36 年 10 月 4 日
有形文化財	林 重右衛門墓碑	字錦岡 238 番地 7	昭和 54 年 7 月 4 日
〃	錦岡樽前山神社円空作 樽前権現像及び奉納品 7 点	宮前町 3 丁目 6 番 20 号	昭和 54 年 12 月 28 日
〃	タプコブ遺跡出土の遺物	末広町 3 丁目 9 番 7 号 美 術 博 物 館	令和 5 年 3 月 24 日
民俗文化財	勇武津不動及び奉納品 7 点	字勇払 46 番地 2	昭和 59 年 4 月 6 日

2 勇 払 公 民 館

【沿革】

昭和40年12月27日 苫小牧市公民館勇払分館設置
 48年 4月 1日 錦岡地区公民館設置。これに伴い勇払分館を勇払地区公民館に改称
 60年12月 2日 新勇払地区公民館開館（現在の建物）
 平成10年 9月 1日 苫小牧市公民館廃止。勇払公民館に名称変更

【施設の概要】

所 在 地	字勇払 33 番地 TEL 56-0003
開 館 時 間	午前9時～午後9時
休 館 日	12月29日～1月3日
設 置 年 月 日	昭和60年12月2日
建 築 面 積	1,362.6 m ²
敷 地 面 積	2,279.7 m ²
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート2階
施 設 内 容	1階＝会議室・図書室・講堂・事務室・和室・浴室 2階＝第1研修室・第2研修室・美術工芸室・料理実習室・ミーティングルーム

【施設の概要】

年 度	回 数 人 員	主 催 事 業	サークル活動	そ の 他 貸館・展示他	合 計
令和4年	回 数	42	524	253	819
	人 員	292	3,546	4,123	7,961
令和5年	回 数	43	535	342	920
	人 員	288	3,478	5,775	9,541
令和6年	回 数	47	490	377	914
	人 員	348	3,567	6,627	10,542

3 図 書 館

【沿革】

昭和22年	3月	図書寄贈運動を起し昭和24年10月、800冊をもって公民館図書部として発足
26年	4月	旧市立病院の建物の一部を改造し、「市立苫小牧図書館」として開館
30年	8月	図書館新築第1期工事に着手、昭和31年3月竣工移転
46年	9月	移動図書館運行開始
50年	10月	勇払地区公民館及び錦岡地区公民館に図書コーナー開設
63年	11月 1日	行政資料室を図書館に統合
63年	11月 3日	市民文化公園内に中央図書館開館（サンガーデンと併設）
63年	12月 22日	住吉ライブラリーセンター図書コーナー開設（平成15年4月コミュニティセンターに変更）
平成	4年	10月 11日 沼ノ端コミュニティセンター図書コーナー開設
	9年	8月 12日 植苗ファミリーセンター図書コーナー開設
	10年	11月 1日 豊川コミュニティセンター図書コーナー開設
	15年	11月 5日 のぞみコミュニティセンター図書コーナー開設（錦岡公民館廃止）
	26年	4月 中央図書館に指定管理者制度導入
	26年	10月 電子図書館「TRC-DL」で電子図書の館外貸出開始
	30年	10月 沼ノ端交流センター図書コーナー開設
令和	4年	12月 1日 東開文化交流サロン図書コーナー開設

【施設の概要】

所在地	末広町3丁目1番15号 TEL35-0511 FAX35-0519 ホームページ https://www.tomakomai-lib.jp
開館時間	午前9時30分～午後8時
休館日	月曜日（祝日・休日にあたる場合は開館）年末年始（12月29日から翌年1月3日まで） 資料整理日 月の最終金曜日（金曜日が祝日の時は開館）
建築面積	3,936.82㎡（図書館2,379.82㎡、サンガーデン1,557㎡）地上2階一部地下1階
延面積	6,812.19㎡（図書館4,419.27㎡、サンガーデン2,392.92㎡）

【利用状況】

年度	中央図書館		移動図書館		勇払図書コーナー		のぞみ図書コーナー		住吉図書コーナー	
	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数
R4	76,813	389,127	4,110	25,846	1,090	2,779	20,715	79,447	16,457	61,178
R5	74,953	374,334	3,802	23,670	1,040	2,752	20,782	79,034	16,106	59,597
R6	77,407	369,201	3,701	23,019	770	1,946	22,066	81,121	16,775	56,764
年度	沼ノ端図書コーナー		植苗図書コーナー		豊川図書コーナー		北栄図書コーナー		東開図書コーナー	
	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数	貸出人数	貸出資料数
R4	11,387	47,537	410	1,581	20,588	79,347	10,045	44,168	3,019	13,459
R5	9,123	35,592	263	808	19,576	72,156	9,620	41,217	7,861	36,163
R6	8,663	31,705	349	975	19,405	68,663	9,822	40,712	10,376	51,322
									合 計	
									貸出人数	貸出資料数
									164,634	744,469
									163,126	725,323
									169,334	725,428

【蔵書状況】

年度	総 記	哲 学	歴 史	社 会 科 学	自 然 科 学	技 術	産 業
R4	16,739	16,046	41,738	74,584	46,676	39,720	17,992
R5	16,946	16,241	42,702	76,329	47,723	40,981	18,519
R6	16,897	16,256	42,602	75,441	46,561	40,385	18,351
年度	芸 術	言 語	文 学	絵 本 紙 芝 居	総 数	雑 誌 種 類	
R4	42,869	6,867	206,774	56,261	566,266	250	
R5	43,879	7,251	208,307	58,961	577,839	239	
R6	43,736	7,302	207,699	59,736	574,966	245	

4 科学センター

【沿革】

昭和45年	1月15日	青少年センターを建設し、博物展示・科学展示部門を設置
46年	6月16日	博物館法に基づく博物館として登録
60年	11月1日	人文関係資料を新博物館に移し、青少年センターを科学センターに改称
平成11年	12月11日	ミール展示館開館
17年	8月20日	「青少年のための科学の祭典2005苫小牧大会」開催
21年	8月29日	ミール展示館10周年記念「ミールと音楽の集い」開催
22年	11月6日	宇宙飛行士秋山豊寛氏苫小牧講演会「鉄と宇宙船」
25年	2月15日	ヘリコプター「はまなす」を移設、太陽光発電学習拠点（太陽光パネル）設置
～	3月31日	
令和元年	10月5日	科学センター開館50周年記念・ミール展示館開館20周年記念 はやぶさ2講演会「リュウグウ城に来てみれば」開催

【施設の概要】

所在地	旭町3丁目1番12号 TEL 33-9158
開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、次の平日）・年末年始
建築面積	本館：1,107.0㎡（延床面積2,496.773㎡）2階建 鉄筋コンクリート ミール展示館：401.86㎡（延床面積493.51㎡）2階建 鉄骨造
施設内容	科学展示室、プラネタリウム室、事務室、実験室、天体観測室ほか ミール展示館

【科学展示コーナー】

本館1階展示室	航空コーナー：グライダー、航空の原理、セスナのエンジン、防災ヘリコプター「はまなす」、ジェットエンジンカットモデル。ほかに鉄道模型コーナー、ダットサンベビーなど
本館2階展示室	宇宙コーナー：宇宙開発の歴史、真空実験、電動ジャイロ、スペースシャトル、宇宙情報。ほかに滑車、鏡の部屋、色と光の実験装置、地震実験、ブラキシノスコープ、木のおもちゃ、パズル、ビー玉ピラミッド、大型星座早見盤、地球の動きと季節など
屋外展示	蒸気機関車、パラボラアンテナ、日時計、壁画「芽の出る音」、ロケット型の笥
ミール展示館	宇宙ステーション「ミール」、実験モジュール「クバント」（各実物）

【利用状況】

（人）

年度	開館日数 （日）	総数	展 示	プラネタリウム・天文	科学センター学習	実験実習
令和4年	308	94,330	82,439	8,867	1,550	1,474
令和5年	309	93,423	76,641	12,446	1,482	2,854
令和6年	307	107,391	87,558	15,163	1,494	3,176

5 美術博物館

【沿革】

昭和48年	11月	苫小牧百年を記念して、郷土博物館の建設方針が決定
60年	11月	苫小牧市博物館として開館。第1回特別展「苫小牧地方の有形文化財」開催
7年	7月	開館10周年記念特別展「大昔の苫小牧～よみがえる古代人の暮らし～」開催
10年	5月	とまこまい市制50周年記念「シャガールとパリの画家たち展」開催
	7月	とまこまい市制50周年記念「出光美術館所蔵ジョルジュ・ルオー展」開催
17年	8月	開館20周年記念特別展「のぞいてみよう恐竜時代～クビナガリュウが見た北海道～」開催
	9月	とまこまい市制60周年記念「出光美術館コレクション 板谷波山展」開催
25年	7月	苫小牧市美術博物館としてリニューアルオープン
26年	7月	開館1周年特別展「青森県立美術館コレクション展」開催
令和5年	7月	苫小牧市美術博物館 開館10周年 特別展「縄文⇄現代～共鳴する美のかたち」
	9月	特別展「出光美術館近代美術名品選—四季が彩る美の世界」
令和6年	6月	特別展「九谷赤絵の極致 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界」

【施設の概要】

所在地	末広町3丁目9番7号 TEL35-2550・35-2551 FAX34-0408
開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、12月29日～1月3日
設置年月日	昭和60年11月3日 美術館併設 平成25年3月26日完成
建築面積	1,636.30 m ²
延床面積	3,539.48 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階
施設内容	展示部門 (常設展示室2室、収蔵展示室2室、第1～第3展示室、中庭展示室) 教育普及部門 (研修室A・B、学芸員相談コーナー) 収蔵部門 (収蔵庫5室外) 研究部門 (研究器材室) 管理部門 (事務室)

【利用状況】 (人)

年度	総数	個人				団体			
		一般	高大生	小・中学生	幼児	一般	高大生	小・中学生	幼児
令和4年	35,173	26,222	456	4,544	2,012	387	41	1,434	77
令和5年	39,926	30,249	497	5,013	1,923	438	137	1,613	56
令和6年	29,350	21,312	468	3,446	1,798	553	204	1,506	63

【資料数】 (点)

年度	考古資料	歴史資料	自然資料	民族資料	芸術資料
令和5年	45,204	49,709	42,472	1,805	1,726
令和6年	45,204	49,709	42,472	1,805	1,731
令和7年	45,204	49,711	42,473	1,805	1,736

6 埋蔵文化財調査センター

【沿革】

昭和48年	8月	「苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財分布調査班」を発足、分布調査開始
51年10月		「苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財発掘調査班」に改称
56年	4月	「苫小牧市埋蔵文化財センター」に改称
60年	4月	苫小牧市内の遺跡の調査・研究を目的として、「苫小牧市埋蔵文化財調査センター」の名称で開所する
62年	1月	静川16遺跡が「静川遺跡」として国指定史跡となる
平成7年	7月	開所10周年記念特別展「大昔の苫小牧～よみがえる古代人のくらし～」開催
14年	4月	事業規模を縮小し、所長以下の職員を博物館職員に兼務させる
19年	5月	有珠川砂防えん堤建設事業に伴う有珠川5遺跡の調査開始（～20年）
21年	4月	市内遺跡試掘調査（主に苫東地区）の事業開始

【施設の概要】

所在地	末広町3丁目9番7号 TEL35-2552 FAX34-0408
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は次の平日）、12月29日～1月3日
設置年月日	昭和60年4月1日
建築面積	474.94 m ²
延床面積	1,649.34 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階
施設内容	収蔵部門 （収蔵庫3室、倉庫2室、器材格納庫） 教育普及部門 （研修室A・B、研修室ホール） 研究部門 （研究室、図書室） 管理部門 （事務室）

【開発行為に伴う埋蔵文化財相談業務一覧】

年度	相談	事前協議	所在調査	試掘調査	工事立会	発掘調査	合計
令和4年	87	11	0	3	1	0	102
令和5年	109	10	0	1	0	0	120
令和6年	74	16	3	6	2	0	101

7 勇武津資料館

【沿革】

- 平成13年 4月 歴史・体験学習施設として勇払ふるさと公園内に開館
- 19年 7月 勇武津資料館友の会設立
- 8月 八王子市より機織り機寄贈
- 8月 手織りサークル「ゆのみ」設立
- 30年 4月 勇払地区コミュニティスクール推進委員会委員に館職員が就任
- 令和 5年 7月 八王子市との姉妹都市締結50周年事業「ゆのみ」第14回作品展「絹のささやき」開催

【施設の概要】

所在地	字勇払132番地の32 TEL・FAX 56-0201
開館時間	午前10時～午後5時
休館日	月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、12月29日～1月3日
設置年月日	平成13年4月1日
入館料	無料
建築面積	393.87 m ²
床面積	325.03 m ²
構造	鉄骨造、平屋建
施設内容	資料展示室、研修室、ホール、収納庫

【利用状況】

(人)

年度	総数	個人				団体			
		一般	高校生	小・中学生	幼児	一般	高校生	小・中学生	幼児
令和4年	3,070	2,405	9	343	89	56	0	71	45
令和5年	3,162	2,495	8	251	57	270	36	32	13
令和6年	2,768	2,275	25	212	52	195	4	5	0

8 文化交流センター

【沿革】

昭和22年	3月15日	苫小牧町公民館開館式（旧軍人会館）
22年11月	3日	全国準優良公民館として毎日新聞社等より表彰を受ける
25年	1月15日	社会教育法による苫小牧市公民館条例施行
28年	6月26日	新公民館完成（本町1丁目1番14号）、新館に移転
40年12月	27日	苫小牧市公民館勇払分館設置
48年	4月1日	錦岡地区公民館設置、勇払分館を勇払地区公民館に改称
52年11月	3日	第30回全国優良公民館として文部大臣表彰を受ける
58年	8月25日	第27回北海道公民館大会開催
60年12月	2日	新勇払地区公民館開館（現在の建物）
平成10年	9月1日	苫小牧市公民館の廃止、勇払公民館及び錦岡公民館の名称変更
	11月1日	苫小牧市文化交流センター条例施行
		苫小牧市文化交流センター（愛称：アイビープラザ）
平成22年	4月1日	指定管理者制度導入

【施設の概要】

所在地	本町1丁目6番1号 TEL 33-8131 FAX 33-8133 ホームページ https://ivyplaza.jp
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	12月29日～1月3日
設置年月日	平成10年11月1日
建築面積	1,798.09 m ²
敷地面積	3,954.99 m ²
構造	鉄骨・鉄筋コンクリート、地上4階一部地下1階（設備機械室）
施設内容	1階＝多目的ホール・楽屋・ギャラリー・事務室 2階＝講習室・学習室1・学習室2 3階＝学習室3・学習室4・音楽練習室・練習室・プレイルーム 4階＝美術室・工芸室・視聴覚室・和室

【利用状況】

年 度	回 数 人 数	主催事業	サークル活動	そ の 他 貸館・展示他	合 計
令和4年	回 数	1,142	2,183	2,067	5,392
	人 数	22,361	32,922	35,773	91,056
令和5年	回 数	1,068	2,307	2,159	5,534
	人 数	20,641	35,031	39,625	95,297
令和6年	回 数	1,107	2,198	2,313	5,618
	人 数	22,914	34,740	45,921	103,575

9 文 化 会 館

【沿革】

昭和54年11月3日	苫小牧市文化会館として開館
平成3年4月1日	視聴覚室を研修室に改修
平成14年7月6日	事務室を1階に移転し、旧事務室を研修室に改修
平成18年4月1日	指定管理者制度導入
令和8年3月31日	閉館

【施設の概要】

所在地	苫小牧市旭町2丁目8番19号 TEL 36-7823 FAX 36-7825 ホームページ http://www.tomakomai-bunkakaikan.com
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	偶数月の最後の金曜日、12月29日～1月3日
設置年月日	昭和54年11月3日
建築面積	1,412.943 m ² (敷地面積 2,029.65 m ²) 地上4階一部地下1階
施設内容	ホール 固定480席 1階 美術陶芸室、展示室、展示室兼ロビー、事務室 2階 楽屋控室、技術スタッフ室 3階 総合練習室、和室、会議室 4階 研修室、文化団体協議会事務局

【利用状況】

年度	回数 人数	ホール	楽屋控室	展示室	美術陶芸室	
令和4年	回数 人数	220 42,393	87 838	38 2,832	97 1,630	
令和5年	回数 人数	225 44,407	87 854	47 2,937	99 1,690	
令和6年	回数 人数	204 47,211	83 890	48 3,818	97 1,644	
年度	回数 人数	総合練習室	和室	会議室	研修室	合計
令和4年	回数 人数	314 8,402	66 1,125	485 12,143	356 5,576	1,285 74,939
令和5年	回数 人数	328 8,543	74 1,284	509 13,924	364 6,776	1,733 80,415
令和6年	回数 人数	329 8,635	110 2,040	478 14,193	361 7,430	1,710 85,861

Ⅳ 資 料

【特別支援学校】

設置者	学校名	所在地	学科	設立年月日
道立	苫小牧支援学校	明徳町3丁目10番3号 TEL 67-6801	小学部 中学部	R3. 4. 1

【高等学校】

設置者	学校名	所在地	学科	課程	設立年月日
道立	苫小牧東高等学校	清水町2丁目12番20号 TEL 33-4141	普	全日制定時制	S12. 4.22
道立	苫小牧西高等学校	青葉町1丁目1番1号 TEL 72-3003	普	全日制	S28. 4. 1
道立	苫小牧南高等学校	のぞみ町2丁目1番2号 TEL 67-2122	普	全日制	S51. 4. 1
道立	苫小牧工業高等学校	字高丘6番地22 TEL 36-3161	《全日制》土木、建築、 電子機械、電気、 環境化学、情報技術 《定時制》工業技術	全日制定時制	T12. 4. 1
道立	苫小牧総合経済高等学校	新開町4丁目7番2号 TEL 55-9264	流通経済、国際経済、 情報処理	全日制	H 2. 4. 1
私立	駒澤大学附属 苫小牧高等学校	美園町1丁目9番3号 TEL 32-6291	普	全日制	S39. 4.18
私立	苫小牧中央高等学校	光洋町3丁目13番2号 TEL 74-4200	普	全日制	S36. 4. 1

【高等専門学校】

設置者	学校名	所在地	学科	課程	設立年月日
国立	苫小牧工業高等専門学校	字錦岡443番地 TEL 67-0213	創造工学	全日制	S39. 4. 1

【大学】

設置者	学校名	所在地	学科	設立年月日
私立	北洋大学	錦西町3丁目2番1号 TEL 61-3111	キャリア創造学科	H10. 4. 1

【専修・各種学校】

設置者	学校名	所在地	設立年月日
私立	苫小牧高等商業学校	若草町5丁目5番15号 TEL 34-3135	S54. 3. 3
私立	苫小牧看護専門学校	住吉町2丁目10番6号 TEL 38-5000	S45. 3.30